

## 【第5回 三重県歯科技工技術安全研修】 日時：令和8年 11月15日(日)

〔日 程〕

9:15 受付開始、Zoom 入室開始 午前9時40分～午後4時30分(受付開始9時15分～)  
 9:40 会長挨拶、講師紹介 ※会場でご講演  
 9:50 川原 寿文 先生 講演『大地震、その時 ～歯科技工士の立場で～』  
 12:30 質疑応答  
 12:40 休 憩 各自昼食 (50分間)

発熱や咳等の風邪症状がみられる場合は、  
会場でのご参加はお控えください。

## 【第6回 三重県歯科技工技術安全研修】

13:20 Zoom 入室開始  
 13:30 講師紹介 ※Zoomによるご講演  
 13:35 竹中 広登 先生 講演『災害支援を支えるロジスティクスと歯科技工士』  
 14:50 質疑応答  
 15:00 休 憩 (5分間) ※Zoomによるご講演  
 15:05 福井 淳一 先生 講演『被災地での活動から見た歯科技工士の役割』  
 16:20 質疑応答  
 16:30 終 了



【講 師】川原 寿文 (かわはら としふみ) 先生 (熊本県歯科技工士会)

【略 歴】1962年 熊本県 天草郡 天草町 (現 天草市) 生まれ  
 1983年 熊本歯科技術専門学校 卒業  
 1983年 大塚歯科医院 勤務  
 1991年 カワハラカンパニー (熊本県八代市千反町) 開設

元 一般社団法人 熊本県歯科技工士会 副会長  
 元 八代歯科技工士会 会長

【講 師】竹中 広登 (たけなか ひろと) 先生 (長崎県歯科技工士会)

【略 歴】2018年 広島大学歯学部 口腔健康科学科 卒業  
 2018年 長崎大学病院 医療技術部 中央技工室 入職  
 2026年 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 修了、博士(歯学) 取得  
 2026年 長崎大学災害対策本部業務調整員養成研修 (UNLOST) 修了  
 2026年 長崎大学病院 医療技術部 中央技工室 歯科技工士長 就任  
 2026年 災害歯科保健医療eラーニング (基礎編・標準編) 修了  
 2026年 長崎県 JDAT 災害派遣



【講 師】福井 淳一 (ふくい じゅんいち) 先生 (長崎県歯科技工士会 副会長)

【略 歴】1986年 広島大学歯学部附属歯科技工士学校 卒業  
 1987年 広島大学歯学部附属病院歯科技工士研修科 修了  
 1990年 長崎大学歯学部附属病院 (現 長崎大学病院) 入職、現在に至る  
 2012年 慶應義塾大学 文学部 卒業  
 2021年 災害歯科保健医療体制研修会 (JDAT 標準研修会) 修了  
 2024年 UNLOST 研修 (第6期生) 修了  
 2025年 文部科学省 医学教育等功労者表彰  
 2026年 長崎県 JDAT 災害派遣

研修会の情報はこちらでもご覧いただけます。 <https://dtbank3e.stars.ne.jp/kensyu.html>

& Zoomミーティング (三重県歯科技工技術安全研修)



【研 修 会 場】アスト津 5階 研修室 B 津市羽所町700 近鉄・JR「津駅」徒歩1分

【募 集 人 数】33名 [アスト津 5階 研修室 B] &amp; 96名まで [Zoom ミーティング]

【受 講 料】無 料 Zoomは【カメラはオン、マイクはミュート、漢字フルネーム表示】

【申 込 先】三重県歯科技工士会 参加時の録音・録画・スクリーンショット等は禁止です。

参加ご希望の方は、郵便、電話又はファックスあるいはEメールでお申込みください。

〔氏名、住所、電話番号、仕事先名、Zoomによる参加の場合はEメールアドレス〕を記入

【募 集 期 間】10月19日(月) 午前10時から 11月12日(木) 午後4時まで

【お問い合わせ】一般社団法人 三重県歯科技工士会 〒514-0004 津市栄町2丁目410 山内ビル2階  
 TEL:059-226-3273 FAX:059-253-3873 Eメール mieshigi@w2.dion.ne.jp

氏 名

電話番号

住 所

仕事先名

Eメールアドレス

【演 題】

『大地震、、その時 ～歯科技工士の立場で～』

元 一般社団法人 熊本県歯科技工士会 副会長  
元 八代歯科技工士会 会長

カワハラカンパニー 川原 寿文

(熊本県歯科技工士会)

【抄 録】

令和 8 年 7 月 28 日午後 4 時 27 分頃、熊本県宇城市と熊本県八代郡氷川町を震源とする最大震度 7 の大地震が発生し、多くの方々が被害を受けました。

「被災後歯科界はどうなる？」

「どう復旧するのか？」

「現在は？」

私なりに見たまま感じたままを皆様にお伝えしたいと思っています。

---

【演 題】

『災害支援を支えるロジスティクスと歯科技工士』

長崎大学病院 医療技術部 中央技工室 竹中 広登

(長崎県歯科技工士会)

【抄 録】

令和 8 年熊本地震では、日本災害歯科支援チーム (JDAT) の長崎県チーム第 1 班の一員として、8 月 16 日から 19 日まで熊本県宇城市に派遣され、歯科救護所における支援活動に携わった。

本講演では、災害時に行われる歯科保健医療活動と JDAT の概要を解説するとともに、支援活動を円滑に進めるうえで欠かすことのできないロジスティクスについて紹介する。さらに、現地での歯科救護所で歯科技工士として関わった経験を具体的に報告すると共に、今後 JDAT の一員として歯科技工士が参加する際に必要な連携と、平時から取り組むべき備えについて考察する。

【演 題】

『被災地での活動から見た歯科技工士の役割』

一般社団法人 長崎県歯科技工士会 副会長

長崎大学病院 医療技術部 中央技工室 福井 淳一

【抄 録】

令和 8 年熊本地震の発災を受け、長崎県 JDAT 第 2 班のメンバーとして、8 月 20 日から 23 日までの 4 日間、災害歯科支援を行った。第 2 班は歯科医師 1 名、歯科衛生士 2 名、歯科技工士 1 名の 4 人 1 チームで編成され、3 日間で計 12 か所の避難所を巡回した。

自身は災害調整員という立場から、出発から帰着までの全行程の運転、派遣ルートの確認と決定、支援物資の補給と運搬、避難所におけるラピッドアセスメントと他の災害支援チームからの情報収集、熊本県歯科医師会に設置された災害対策本部や他県 JDAT チームとの連携、クロノロジー (クロノロ) および活動報告書の作成などを担当した。今回の経験を踏まえ、実際の活動内容を具体的にご紹介するとともに、今後の関わりが期待される身元確認とそれに関連する義歯刻印についても解説する。

本講演を通じ、災害歯科支援において歯科技工士の専門知識と技術がどのように貢献できるか、その具体的な役割と可能性を皆さんと共に探求したい。